

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		江川 雅美	■ 1年 前期	
到達目標	・自分発見（ワークを通して自分と向き合うことで気付きを促し「自分発見」に繋げる）		2単位 32時数	
	・企業リサーチ ・PR動画作成の準備		実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業 (授業の進め方、成績のつけ方など説明)		授業の内容を理解し、就職に向けた取り組み を理解する	
2	就職までの流れ 自己理解1(ビヘイビアタイプ、エゴグラム)		自己理解とはどのようなことかを知る 素直に受け止める力を身につける	
3	自己理解2(願望の発見、自分はどんな人?)		自己理解 今まで考えてこなかったことを実際に具体化する	
4	自己理解3(欲望チェック)		自分の欲望がどのくらい存在しているか確認 無い人は欲を出すことの必要性を知る	
5	自己理解4(他信)		周りから見た自分を知る 素直に前向きに受け止める力を養う	
6	自己イメージの確立1 (現在のライフスタイル、理想の自分、こころの地図)		今の自分を客観的に見て理想とのかけ離れが無いか自己分析 理想を明確にし、目標を設定する	
7	自己イメージの確立2 (価値のリレーション)		価値とは何かを理解する	
8	アピールポイント (振り返って自分についてまとめる)		表現力の強化	
9	自分の方向性・優先順位と企業の選び方 企業リサーチとは、リサーチの仕方・ポイント		基本的な流れを理解し、行動する	
10	挨拶、礼儀、マナーなど①		対人からの見え方、受ける印象を理解する	
11	挨拶、礼儀、マナーなど②		心地よい挨拶、印象に残るなど社会人スキルと言われる ことは何かを理解する	
12	希望企業の選定（5社くらいに絞る）			
13	PR動画撮影に向けて① (自己PR、好きな教科、趣味・特技など作ってみる)			
14	PR動画撮影に向けて② (PR動画の構成を考える(内容や作品など))			
15	PR動画撮影に向けて③ (構成に合わせてスピーチ内容を練り直し)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		江川 雅美	■ 1年 後期	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・PR動画を作成する ・業界EXPOの為の準備 ・就職試験、面接、オンライン面接の対策 			2単位 32時数
				実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	PR動画用の自己PR修正、作品準備			
2	PR動画撮影①			
3	PR動画撮影②			
4	業界EXPO対策① (マナー、話し方、聞き方など)			
5	業界EXPO対策② (企業に質問したいことなどを考える)			
6	就職試験(筆記)対策① (過去問など)			
7	就職試験(筆記)対策② (過去問など)			
8	集中授業 (補強が必要と思われる分野をする)			
9	面接対策① (対策シート作成)			
10	面接対策② (対策シート練り直し)			
11	オンライン面接対策① (オンライン面接時の注意点など)			
12	オンライン面接対策② (オンライン面接の体験)			
13	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
14	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
15	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		江川 雅美	■ 2年 前期	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人になってからのビジネスマナーを身につける ・会社に入ってからの仕事を模擬体験する～テーマに沿ったイベントの企画をチームに分かれ ・就職活動に対しての自己の課題理解、対策、対応ができる 			2単位 32時数
				実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業（授業の進め方、成績のつけ方など説明）			
	個別面談（各個人の状況の確認、春休みの活動報告）			
2	イベントのテーマ決め			
	就職指導（個別対応）			
3	企画の内容決め			
	就職指導（個別対応）			
4	チーム決め、担当割り			
	就職指導（個別対応）			
5	イベント企画① チームごと			
	就職指導（個別対応）			
6	イベント企画② チームごと			
	就職指導（個別対応）			
7	イベント企画③ チームごと			
	就職指導（個別対応）			
8	イベント企画④ チームごと			
	就職指導（個別対応）			
9	イベント企画⑤ チームごと			
	就職指導（個別対応）			
10	プレゼン準備①			
	就職指導（個別対応）			
11	プレゼン準備②			
	就職指導（個別対応）			
12	プレゼン・投票			
	就職指導（個別対応）			
13	イベント詳細事項①（実行する程でする）			
	就職指導（個別対応）			
14	イベント詳細事項②（実行する程でする）			
	就職指導（個別対応）			
15	振り返り・改善点			
	個別面談（各個人の状況の確認）			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		江川 雅美	■ 2年 後期	
到達目標	・就職活動に対する自己の課題理解、対策、対応ができる			2単位 32時数
				実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	個別面談（各個人の状況の確認）			
2	就職指導（個別対応）			
3	就職指導（個別対応）			
4	就職指導（個別対応）			
5	就職指導（個別対応）			
6	就職指導（個別対応）			
7	就職指導（個別対応）			
8	就職指導（個別対応）			
9	就職指導（個別対応）			
10	就職指導（個別対応）			
11	就職指導（個別対応）			
12	就職指導（個別対応）			
13	就職指導（個別対応）			
14	就職指導（個別対応）			
15	個別面談（各個人の状況の確認）			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：サービス接遇		堂上	■ 1年 前期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、振る舞いなどを学ぶ		2単位 32時数	
	2、おもてなしの心とかたちを習得する 3、サービス接遇検定3級合格		実務経験 放送局勤務歴有・コンサル業務	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について		
2	敬語①	現状の敬語力		
3	敬語②	小テスト/尊敬、丁寧		
4	敬語③	小テスト/謙譲語		
5	敬語④	小テスト/よく間違える敬語の使い方		
6	検定対策	模擬テスト		
7	検定対策	模擬テスト		
8	中間テスト	筆記テスト		
9	復習授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策		
11	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策		
12	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策		
13	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策		
14	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策		
15	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策		
16	最終テスト	筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：サービス接遇		堂上	■ 1年 後期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、振る舞いなどを学ぶ		2単位 32時数	
	2、おもてなしの心とかたちを習得する 3、サービス接遇検定3級合格		実務経験 放送局勤務歴有・コンサル業務	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について		
2	前期振り返り	理解できていないところの把握と克服		
3	敬語	過去問		
4	アナウンス文	場面に応じた文章作成・問題集		
5	掲示文	場面に応じた文章作成・問題集		
6	販売文	場面に応じた文章作成・問題集		
7	検定対策	模擬テスト		
8	中間テスト	筆記テスト・実技テスト		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	電話対応	電話の受け方・名前伺い		
11	電話対応	聞き取り		
12	電話対応	伝言の受け方とメモ		
13	電話対応	会話のバトンタッチ		
14	電話対応	クレーム		
15	電話対応	ケーススタディ		
16	最終テスト	筆記テスト・実技テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：サービス接遇		堂上	■ 2年 前期	
到達目標	1、検定3級合格		2単位 32時数	
	2、社会人として役に立つ知識を修得 3、マナーを通して人間力を高める		実務経験 放送局勤務歴有・コンサル業務	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業内容の発表 ・実務ガイド本より			
2	ビジネスマンとしての資質 ・執務要件、(まとめ)シート	課題テスト有り		
3	組織の機能 ・業務分担、職制	・過去問題より		
4	全体マナー	テキスト仕上げ		
5	文書(社内) ・知識+事務用品	課題テスト有り		
6	文書(社外) ・知識+a	課題テスト有り		
7	復習 1	課題テスト有り		
8	復習 2	課題テスト有り		
9	過去問題	課題テスト有り		
10	過去問題	課題テスト有り		
11	過去問題	課題テスト有り		
12	過去問題	課題テスト有り		
13	過去問題	課題テスト有り		
14	単位試験 実施			
15	単位試験 振り返り 過去問題			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：硬筆書写		安藤	■ 1 年 前期
到達目標	1、文字の基本から学び読みやすい文章の書き方を学ぶ 2、履歴書の書き方 3、書写検定合格のポイント		2単位 32時数 実務経験 文科省書写検定審査委員
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	読みやすい文字を書くコツ① 筆順	文字を書くための基本 姿勢・持ち方・自分の名前の確認	
2	読みやすい文字を書くコツ② 筆順	自分の名前（配字配列） 感じのバランスの取り方を学ぶ①	
3	読みやすい文字を書くコツ③ 筆順	感じのバランスの取り方を学ぶ②	
4	読みやすい文字を書くコツ④ 部首	片仮名の字源と特徴 片仮名のバランスの取り方を学ぶ	
5	読みやすい文字を書くコツ⑤ 部首	片仮名の字源と特徴 片仮名のバランスの取り方を学ぶ	
6	読みやすい文字を書くコツ⑥ 常用漢字	縦書きの書式とバランス 活字から書き文字へ書き取り	
7	読みやすい文字を書くコツ⑦ 常用漢字	横書きの書式とバランス 活字から書き文字へ書き取り	
8	読みやすい文字を書くコツ⑧ 常用漢字	文字のバランスの取り方（まとめ） 縦書き・横書き（小テスト）	
9	読みやすい文字を書くコツ⑨	履歴書の書き方（下書き） 名前・漢字の書き取り練習	
10	読みやすい文字を書くコツ⑩	履歴書の書き方 履歴書を書くための書式とバランス	
11	読みやすい文字を書くコツ⑪	履歴書の書き方 添削を参考にまとめ	
12	書写検定合格のポイント①	横書き 第1・4問 ～早書き・楷書～	
13	書写検定合格のポイント②	横書き 第1・4問 ～早書き・楷書～	
14	書写検定合格のポイント③	はがきの表書き 第5問 ～はがきの書式を学ぶ～	
15	書写検定合格のポイント④	はがきの表書き 第5問 ～はがきの書式を学ぶ～	
16	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：硬筆書写Ⅰ		安藤	■ 1年 後期	
到達目標	1、書写検定合格のポイント		2単位 32時数	
	2、合格できる技能を身につける 3、筆ペンで実用書を学ぶ		実務経験 文科省書写検定審査委員	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	書写検定合格のポイント	書写理論		
	①横書きの書式と特徴	部首		
2	・早書き4分(第1問)			
	・横書き(第4問) 漢字・平片仮名・数字・アルファベット	筆順		
3	②縦書きの書式と特徴			
	・楷書と行書の特徴	筆順		
4	・マス(第2問)			
	・縦書き(第3問)	草書のよみ		
5	③掲示文を書く			
	・B4サイズに油性マジックで書く	常用漢字		
6	・レイアウトとバランス(第6問)			
		常用漢字		
7	④はがきの表書き(復習)			
	・書式と文字のバランス(第5問)	まとめ①		
8	⑤復習(第1問～第6問)			
	・理論 過去問	まとめ②		
9	書写検定過去問題			
	・模擬①	評価1		
10	書写検定過去問題			
	・模擬②	評価2		
11	書写検定過去問題			
	・模擬③	評価3		
12	履歴書(復習)			
	書写検定の説明、その他	評価4		
13	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～慶事の書き方と由来	検定の確認		
14	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～弔事の表書きと由来			
15	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～慶事・弔事の表書き 小テスト・まとめ	評価5		
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ホームルーム		堀川	■ 1年 前期	
到達目標	1、社会性を身につける			2単位 32時数
	2、コミュニケーション力を身につける			実務経験
	3、			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	自己紹介・他己紹介		コミュニケーション	
	自分、相手について話することができる		オリエンテーション	
2	学校見学		グループワーク	
	学校に慣れる			
3	時間割、教科書、教材の確認		時間割をみる	
	時間割を見て行動できる		授業の準備ができる	
4	資材店見学		実店舗へ行き、材料を調べる	
	花の道具を準備できる			
5	花店見学		花の名前や店の名前を調べる	
	花店の違いや季節の花を調べる			
6	1・2年交流会		コミュニケーション力を発揮する	
7	業界EXPOにむけて		企業について調査する	
	企業調査			
8	業界EXPOにむけて		自分について考える	
	自己PR			
9	業界EXPOにむけて		自分について考える	
	自己PR			
10	業界EXPOにむけて		身だしなみ、メイクを整える	
	身だしなみ、写真撮影			
11	面接にむけて		企業について詳しく調べる	
	企業調査		過去の面接からの対策	
12	面接にむけて		企業について詳しく調べる	
	過去分析		過去の面接からの対策	
13	面接にむけて		対面	
	面接練習			
14	面接にむけて		ZOOM練習	
	面接練習			
15	面接にむけて		ZOOM練習	
	面接練習			
16	面接にむけて		グループディスカッション	
	面接練習			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ホームルーム		堀川	■ 1年 前期	
到達目標	1、社会性を身につける			2単位 32時数
	2、コミュニケーション力を身につける			実務経験
	3、面接の準備をする			ITプログラマ職歴有
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	面接対策		お礼状、メールの返信文を作ることができる	
	お礼状の書き方やメールの返信について			
2	面接対策		企業の求めている人材について考えをまとめる	
	企業によって面接内容を考える			
3	面接対策		面接官にアピールできる	
	面接練習			
4	面接対策		面接官にアピールできる	
	面接練習			
5	面接対策		確認	
	面接練習			
6	面接対策		コミュニケーション力を発揮する	
	面接練習			
7	面接対策			
	面接練習			
8	面接対策			
	面接練習			
9	面接対策			
	面接練習			
10	面接対策			
	面接練習			
11	面接対策			
	面接練習			
12	面接対策			
	面接練習			
13	面接対策			
	面接練習			
14	面接対策			
	面接練習			
15	面接対策			
	面接練習			
16	面接対策			
	面接練習			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Word		小磯	■ 1 年 前期	
到達目標	1、Wordの基本操作		2 単位 32時数	
	2、ビジネス文書の作成習得 3、Word文書処理技能認定試験3級の取得		実務経験 情報システム企業勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業内容説明、Word-基本操作		Word2019基本編	
2	文書編集 ビジネス文書の基本的な編集作業		Word2019基本編	
3	印刷設定・文書編集問題 ヘッダーフッター・印刷設定・文書編集を行い機能を習得する	ビジネス文書編集問題	Word2019基本編	
4	文書作成 ビジネス文書作成のためのテクニック		Word2019基本編	
5	文書作成問題 文書編集・文書作成をまとめた書類を作成する	ビジネス文書作成問題	Word2019基本編	
6	表を使った文書作成 表が入ったビジネス文書を作成し、表の使い方を習得する		Word2019基本編	
7	表を使った文書作成問題 表作成をメインに表の使い方を学ぶための問題を行っていく	表を使用したビジネス文書表作成問題	Word2019基本編	
8	図形や画像を使った文書の作成 ポスターやチラシなど、ビジネス文書以外の書類の作成	図形作成問題	Word2019基本編	
9	総合学習問題 Word2019基本編第2部問題演習編	Wordの2019基本編テキストの総合問題	Word2019基本編	
10	Word3級問題集 問題集の模擬問題1の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題1	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
11	Word3級問題集 問題集の模擬問題2の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題2	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
12	Word3級問題集 問題集の模擬問題3の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題3	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
13	Word3級問題集 問題集の模擬問題4の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題4	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
14	Word3級問題集 問題集の模擬問題5の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題5	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
15	Word3級問題集 問題集の模擬問題6の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題6	Word文書処理技能認定試験3級問題集	
16	最終テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Excel		寺岡	■ 1年 後期	
到達目標	1、基本的なExcelの知識・技術の習得			単位 時数
	2、基本的な操作方法の習得から応用・実用法の習得			実務経験
	3、基本的な知識から活用までを身につける			公務員歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	コンピュータの必要性・基本知識 解説		
2	Excel・データの基本	画面構成・操作・選択・入力	タイピング (10分)	
3	表の編集	罫線・セルの書式・表示形式・調整	タイピング (10分)	
4	表の編集・印刷	表示モード・ページ設定・印刷範囲・印刷	タイピング (10分)	
5	表の編集・印刷	表示モード・ページ設定・印刷範囲・印刷	タイピング (10分)	
6	グラフと図形	グラフの作成と編集・図形の活用 練習問題	タイピング (10分)	
7	練習問題	データの編集・表の編集の練習問題の実施	タイピング (10分)	
8	中間テスト	データの編集・表の編集の復習問題の実施	タイピング (10分)	
9	復習問題	データの編集・表の編集の復習問題の実施	タイピング (10分)	
10	ブックの利用と管理	ワークシートの管理と活用・ウィンドウの操作	タイピング (10分)	
11	関数	統計・数学/三角関数 練習問題	タイピング (10分)	
12	関数	論理関数・日付関数 練習問題	タイピング (10分)	
13	練習問題	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集の活用		
14	練習問題	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集の活用		
15	復習問題	復習問題の実施		
16	総合復習問題	総合復習問題の実施	タイピング (10分)	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Excel		寺岡	■ 2年 前期	
到達目標	1、基本的な知識から活用までを身につける			2単位 32時数
	2、コンピュータの活用			実務経験
	3、基本的な操作方法の習得から応用・実用法の習得			公務員歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	確認問題		Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用	タイピング (10分)
2	復習問題		Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用	タイピング (10分)
3	復習問題		Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用	タイピング (10分)
4	練習問題		Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用	タイピング (10分)
5	練習問題		Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用	タイピング (10分)
6	試験模擬問題		Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用	タイピング (10分)
7	試験模擬問題		Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用	タイピング (10分)
8	中間テスト		Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用	タイピング (10分)
9	書式設定		ファイルの挿入・段落番号・スタイルの登録・段組み	タイピング (10分)
10	書式設定		ファイルの挿入・段落番号・スタイルの登録・段組み 練習問題	タイピング (10分)
11	表の作成		表のスタイル・編集・配置	
12	ビジネス文書の作成		ビジネス活用例を基にしたビジネス文書の作成	
13	ビジネス文書の作成		ビジネス活用例を基にしたビジネス文書の作成	
14	案内文・チラシの作成		ビジネス活用例を基にしたビジネス文書の作成	
15	確認問題		確認問題の実施	タイピング (10分)
16	総合復習問題		総合復習問題の実施	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Excel		寺岡	■ 2年 後期	
到達目標	1、基本的なExcelの知識・技術の習得			2単位 32時数
	2、基本的な操作方法の習得から応用・実用法の習得			実務経験
	3、基本的な知識から活用までを身につける			公務員歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	データベースの機能		リスト・並び替え	タイピング (10分)
2	データベースの機能		抽出・テーブル	タイピング (10分)
3	関数の活用・復習		統計関数	タイピング (10分)
4	関数の活用・復習		数学/三角関数	タイピング (10分)
5	関数の活用・復習		論理関数	タイピング (10分)
6	関数の活用・復習		日付関数	タイピング (10分)
7	確認問題		関数を中心としたExcel確認問題	
8	中間テスト		関数を中心としたExcel復習問題	
9	入力補助機能		入力規則・表示形式・条件付き書式・名前の定義	タイピング (10分)
10	入力補助機能		条件付き書式・名前の定義	タイピング (10分)
11	処理の自動化		マクロ	タイピング (10分)
12	処理の自動化		マクロを活用した練習問題	タイピング (10分)
13	Excelの活用例①		機能を利用したデータの分析方法	タイピング (10分)
14	Excelの活用例②		ピボットテーブル	タイピング (10分)
15	確認問題		Excel機能確認問題	
16	総合復習問題		総合復習問題の実施	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ハードウェア概論		デジタルLLC 宮原	■ 1年 前期	
到達目標	1、コンピュータを構成するハードウェア機器の役割を学びマイクロコンピュータの仕組みが			2単位 32時数
	2、マイクロコンピュータを使ったセンサやモータの制御方法を習得する。			実務経験
3、				ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		クール開始授業説明、到達点について	
2	五大機能		ハードウェア、コンピュータの種類、五大機能、演算と制御	
3	メモリと補助記憶装置		メインフレーム、ワークステーション、PCの違い、絶対バスと相対バス	
4	演算装置		クロック、デュアルコア、オクタコア	
5	インターフェース		シリアルコンソールの使い方、ブレッドボードの使い方	
6	マイクロコンピュータ		IDE開発環境	
7	LED制御		LED高速点滅から低速点滅へ	
8	中間テスト		筆記テスト：五大装置の役割実技テスト：	
9	導入授業		前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について	
10	フルカラーLED制御		二つのLEDを外部回路に実装、フルカラーLEDを外部回路に実装	
11	スイッチと抵抗		スイッチの値を保存する、定数、配列、関数	
12	圧電スピーカ		周波数値による音階作成	
13	光センサ制御		CDSによる光のコントロール	
14	モータ制御		モータドライバによる回転制御	
15	フォトセンサ制御		フォトセンサを利用したライントレース	
16	最終テスト		筆記テスト：マイコンを使ったオルゴールの設計実技テスト：	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
プログラミング言語Ⅰ		堀川	■ 1年 前期	
到達目標	C言語能力認定試験3級合格を目指し、基本的な文法・プログラム作成方法を取得する。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	第1章 まずは慣れよう		課題第1章 1-1-1～1-1-3	
	1-1 表示 1-2 変数		1-2-1～1-2-5	
2	1-3 読み込み		課題第2章 2-1-1～2-1-3	
	第2章 演算と型 2-1 演算 2-2 型		2-2-1～2-2-3	
3	第3章 分岐 if文		課題第3章 3-1-1～3-1-3	
	第4章 繰り返し 4-2 while文		課題第4章 4-1-1～4-1-3	
4	4-3 for文 4-4 多重ループ		4-2-1～4-2-5	
	第5章 配列 5-1 配列		課題第5章 5-1-1～5-1-10	
5	5-1 配列		5-1-1～5-1-10	
	5-2 多次元配列		5-2-1～5-2-5	
6	第6章 関数 6-1 関数とは		課題第6章 6-1-1～6-1-8	
	6-2 関数の設計		6-1-1～6-1-8	
7	関数の設計		6-1-1～6-1-8	
	第8章 いろいろなプログラムを作ってみよう			
8	8-1 関数形式マクロ			
	8-2 ソート			
9	第9章 文字列の基本		課題第9章 9-1-1～9-1-9	
	9-1 文字列とは 9-2 文字列の配列			
10	9-3 文字列の操作		9-2-1～9-2-4	
	第10章 ポインタ 10-1 ポインタ		課題第10章 10-1-1～10-1-4	
11	10-2 ポインタと関数		10-2-1～10-2-6	
	10-3 ポインタと配列		10-3-1～10-3-6	
12	第11章 文字列とポインタ 11-1 文字列とポインタ		10-4-1～10-4-4	
	11-2 ポインタによる文字列の操作		10-5-1～10-5-4	
13	11-3 文字列を扱うライブラリ関数		10-6-1～10-6-7	
	第12章 構造体 12-1 構造体		課題第12章 12-1-1～12-1-4	
14	12-2 メンバとしての構造体		12-2-1～12-2-2	
	第13章 ファイル処理 13-1 ファイルとストリーム		12-3-1～12-3-4	
15	13-2 テキストとバイナリ		課題第13章 13-1-1、13-2-1～13-2-3	
	13-3 printf関数書式付入出力			
16	前期試験・試験解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：プログラミング言語Ⅱ		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	1、Javaに関する基本的な知識を有し、簡単なプログラミングが書ける			4単位 64時数
	2、オブジェクト指向について基本的な概念を理解する			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	Java実行環境の設定	プログラム課題		
	第1章プログラムの書き方	1章		
2	第3章条件分岐	プログラム課題		
		3章		
3	第4章 配列	プログラム課題		
		4章		
4	第5章 メソッド	プログラム課題		
		5章		
5	第6章 複数クラスを用いた開発	プログラム課題		
		6章		
6	第7章 オブジェクト指向を始めよう	プログラム課題		
		7章		
7	第8章 インスタンスとクラス	プログラム課題		
		8章		
8	第8章 インスタンスとクラス	プログラム課題		
		8章		
9	第9章 さまざまなクラス機構	プログラム課題		
		9章		
10	クラス型と参照	プログラム課題		
		9章		
11	Javaプログラミング能力認定試験 過去問題1			
12	Javaプログラミング能力認定試験 過去問題2			
13	Javaプログラミング能力認定試験 過去問題3			
14	サンプル問題Ⅰ			
15	サンプル問題Ⅱ			
16	総まとめ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：プログラミング言語Ⅱ		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	統合開発環境を使用してOSに依存しないWindowベースのアプリケーション プログラムの作成方法を習得する。			4単位 64時数
	Java言語			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
2	統合開発環境とGUIプログラミング		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
3	Windowフレーム作成		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
4	コンポーネントの作成		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
5	テキストフィールドの実現		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
6	イベント処理		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
7	イベント処理 (課題実習)		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE) 筆記試験	
8	課題実習 試験		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
9	ToDoリストの作成		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
10	テキストビューアの作成		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
11	画像ビューアの作成		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
12	キーボードアクションの取得		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
13	アニメーションの表示		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
14	メモ帳アプリの作成 (入力・編集)		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE)	
15	メモ帳アプリの作成 (保存・削除)		JavaSDK8 + IDE(ECLIPSE) 筆記試験	
16	課題実習 試験		試験	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：プログラミング言語Ⅱ		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	Windows系サーバにおけるサイドプログラムの作成方法を習得し			4単位 64時数
	Web検索アプリケーションを制作する。 Java言語			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業			
2	プログラミング環境構築	IIS+ASP		
3	基本構文	IIS+ASP		
4	データの受け渡し	IIS+ASP		
5	フォワード	IIS+ASP		
6	セッションの継続	IIS+ASP		
7	クッキーの読み書き	IIS+ASP		
8	課題実習	IIS+ASP		
	中間試験	筆記試験		
9	データベース接続とレコード表示	Tomcat+JSP		
10	Webページとデータベース連携	Tomcat+JSP		
11	ログインプロセス	Tomcat+JSP		
12	セッション継続のログインプロセス	Tomcat+JSP		
13	Web検索アプリケーションの設計	Tomcat+JSP		
14	Web検索アプリケーションの実装	Tomcat+JSP+Servlet		
15	Web検索アプリケーションの実装	Tomcat+JSP+Servlet		
16	課題実習	Tomcat+JSP+Servlet		
	最終試験	試験 筆記試験		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：データベース1		堀川	■ 1年 前期	
到達目標	1、関係演算の考え方とともに、RDBの実践的な操作方法を習得する。			4単位 64時数
	2、正規化、モデリング、論理設計、物理設計などデータ構造の表記や設計の方法を習得する 3、SQL・正規化・ERDモデリングの概念を理解する。			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	DB操作言語	関係データモデル、主キー-外部キー video.db作成,select文		
2	DB操作言語	抽出SQL (where in, >=<,<=,<!,=,) 抽出SQL (order by,ascend,descend)		
3	DB操作言語	抽出SQL (count(*),group by,)		
4	DB操作演習	都道府県.db作成,都道府県テーブルより人口密度の表示 市町村テーブルより人口密度の表示		
5	DB操作演習	都道府県の人口密度を多い順に表示する 市町村の人口が少ない順に県名も含めて表示する		
6	DB操作演習	簡単なSQL参照製菓の実習 テーブル作成、データ投入、更新波及、削除波及、ビュー作成、実表と仮想表、ER図		
7	DB操作演習	ITパスポート問題（顧客-売上）のDB実装 販売DBのSQL展開、操作の実習		
8	DBサーバ導入	PostgreSQLサーバ導入、ネットワーク設定、CSE接続確認 PostgreSQL、受注データベースの復元		
9	DB設計	正規化演習（注文書）→ERDモデリング→SQL作成 正規化演習→SQL実装→導出項目復元エラー→再設計→第五正規形		
10	DBMS	参照制約の確認、トランザクション、排他制御 ロック、正規化例題		
11	DB設計演習	lpass受注票→正規化→実装 社員情報管理データベースの作成		
12	DB設計演習	社員情報管理データベースの実装 DVD管理データベースの作成		
13	DB設計演習	DVD管理データベースの実装 電話番号管理データベースの作成		
14	DB設計演習	電話番号管理データベースの実装		
15	DB設計演習	PC所有データベースの作成 PC所有データベースの実装		
16	期末テスト・解説	筆記テスト：抽出SQL・正規化とモデリング		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
データベースI		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	1、関係演算の考え方とともに、RDBの実践的な操作方法を習得する。			4単位 64時数
	2、正規化、モデリング、論理設計、物理設計などデータ構造の表記や設計の方法を習得する 3、SQL・正規化・ERDモデリングを実装できる。			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	DBシステムの構築演習		名簿管理DBの設計と実装	
			テーブル設計	
2	DBシステムの構築演習		物理DBの構築	
			データ入力とクエリの作成	
3	社員情報管理DB		社員原票の正規化	
	データモデリング		ERDモデリング	
4	社員情報管理DB		SQL-DDL概念データモデルの作成	
	データモデリング			
5	社員情報管理DB		データベースサーバ (PostgreSQL) の導入	
	Windowsサーバに実装		テーブル実装 (概念スキーマ構築)	
6	社員情報管理DB		テストデータ入力	
	Windowsサーバに実装		社員原票を復元 (外部スキーマ) するためのビューを作成	
7	社員情報管理DB		データベースサーバ (PostgreSQL) の導入	
	Linuxサーバに実装		テーブル実装 (概念スキーマ構築)	
8	社員情報管理DB		テストデータ入力	
	Linuxサーバに実装		社員原票を復元 (外部スキーマ) するためのビューを作成	
9	クラウド環境構築課題演習		要件定義、論理データモデル作成	
	社内図書管理システム			
10	DB設計		ERDモデリング	
11	DB設計		SQL-DDL概念データモデルの作成 (テーブル設計)	
12	DB実装		テーブル実装 (概念スキーマ構築)	
13	DB実装		テストデータ作成	
			テストデータ入力	
14	DB実装		外部スキーマ作成	
			ネットワークセキュリティ設定、権限付与	
15	システム実装		クライアントアプリケーションの導入	
			運用テスト	
16	期末テスト		実技テスト：社内図書管理システムの評価	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
データベースII		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	関係演算の考え方とともに、RDBの実践的な設計方法及び操作方法を習得する。 プログラムからデータベースへの問い合わせを行い結果を取得する方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	名簿管理DBの設計と実装		
2	DBシステムの構築演習	テーブル設計		
3	DBシステムの構築演習	物理DBの構築		
4	DBシステムの構築演習	データ入力とクエリの作成		
5	DBシステムの構築演習	社員原票の正規化		
6	社員情報管理DB データモデリング	ERDモデリング		
7	社員情報管理DB データモデリング	SQL-DDL概念データモデルの作成		
8	社員情報管理DB データモデリング	データベースサーバ (PostgreSQL) の導入		
9	社員情報管理DB Windowsサーバに実装	テーブル実装 (概念スキーマ構築)		
10	社員情報管理DB Windowsサーバに実装	テストデータ入力		
11	社員情報管理DB Windowsサーバに実装	社員原票を復元 (外部スキーマ) するためのビューを作成		
12	社員情報管理DB Windowsサーバに実装	データベースサーバ (PostgreSQL) の導入		
13	社員情報管理DB Linuxサーバに実装	テーブル実装 (概念スキーマ構築) テストデータ入力		
14	社員情報管理DB Linuxサーバに実装	社員原票を復元 (外部スキーマ) するためのビューを作成		
15	社員情報管理DB Linuxサーバに実装	筆記テスト： 実技テスト：Linux版社員情報管理DB		
16	中間課題評価	実技テスト：社内図書管理システムの評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
データベースII		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	関係演算の考え方とともに、RDBの実践的な設計方法及び操作方法を習得する。 プログラムからデータベースへの問い合わせを行い結果を取得する方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	クラウド環境構築課題演習 社内図書管理システム	要件定義、論理データモデル作成		
3	DB設計	ERDモデリング		
4	DB設計	ERDモデリング		
5	DB設計	SQL-DDL概念データモデルの作成（テーブル設計）		
6	DB設計	SQL-DDL概念データモデルの作成（テーブル設計）		
7	DB実装	テーブル実装（概念スキーマ構築）		
8	DB実装	テーブル実装（概念スキーマ構築）		
9	DB実装	テストデータ作成		
10	DB実装	テストデータ入力		
11	DB実装	外部スキーマ作成		
12	DB実装	ネットワークセキュリティ設定、権限付与		
13	システム実装	クライアントアプリケーションの実装（フレームワーク作成）		
14	システム実装	クライアントアプリケーションの実装（DB問い合わせ）		
15	システム実装	クライアントアプリケーションの実装（ResultSet取得）		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技テスト：社内図書管理システムの評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ITパスポートⅠ		堀川	■ 1年 前期	
到達目標			4単位 64時数	
1、社会人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を解説 2、国家試験のITパスポート試験の合格を目標とする 3、			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	7-1 基礎理論、情報に関する理論	予想問題 7-1～7-8		
	7-2 アルゴリズムとプログラミング データ構造			
2	マークアップ言語			
	8章 8-1 コンピュータシステム			
3	8-2 コンピュータの構成要素	予想問題 8-1～8-14		
	8-3 プロセッサ、記憶装置、入出力デバイス			
4	8-3 システムの構成			
	システムの構成要素			
5	8-4 ソフトウェア			
	ハードウェア			
6	9章 技術要素	予想問題9-1～9-36		
	9-1 ヒューマンインターフェース			
7	9-2 マルチメディア技術			
	9-3 データベース			
8	9-4 データベース設計			
	9-5 データベース操作			
9	9-6 トランザクション処理			
	9-7 トランザクション処理			
10	9-8 ネットワーク方式 通信プロトコル			
	9-9 ネットワーク応用			
11	10章 10-1 情報セキュリティ	予想問題10-1～10-4		
	10-2 情報セキュリティ管理			
	10-3 情報セキュリティ対策			
12	前期試験対策			
13	前期試験			
14	前期試験返却・解説			
15				
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ITパスポートⅡ		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	1、ITを活用するために必要なコンピュータ、経営戦略、マネジメント、ネットワークなど、幅広い知識を講義と問題演習により習得する。		4単位 64時数	
	3、幅広い知識を講義と問題演習により習得する。		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	テクノロジ系	基礎理論 過去問		
2	テクノロジ系	基礎理論 過去問		
3	テクノロジ系	コンピュータシステム 過去問		
4	テクノロジ系	ハードウェア 過去問		
5	テクノロジ系	データベース・表計算 過去問		
6	テクノロジ系	ネットワーク 過去問		
7	テクノロジ系	情報セキュリティ 過去問		
8	ストラテジ系	企業活動・法務 過去問		
9	ストラテジ系	経営戦略 過去問		
10	ストラテジ系	技術戦略 過去問		
11	ストラテジ系	システム戦略 過去問		
12	マネジメント系	開発技術 過去問		
13	マネジメント系	プロジェクトマネジメント 過去問		
14	マネジメント系	サービスマネジメント 過去問		
15	マネジメント系	監査 過去問		
16	期末テスト・解説	筆記テスト：テクノロジ系・ストラテジ系		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Java言語		堀川	■ 1年 前期	
到達目標	プログラム実装に必要な順次処理、繰り返し処理、条件分岐処理の構文を習得する。 コマンドコンソールを使用してOSに依存しないプログラムの作成方法を習得する。 Java検定試験に合格する。		2単位 32時数 実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	環境構築	プログラミング環境構築		
3	HelloWorld	プログラムの構造		
4	構文	変数		
5	〃	計算式		
6	〃	演算子と型変換		
7	演習	計算式 (課題)		
8	中間テスト	筆記テスト： 実技テスト：ABC評価のフローチャート実装		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	構文	条件分岐		
11	〃	繰り返し		
12	〃	配列		
13	〃	メソッド		
14	演習	配列 (課題演習)		
15	〃	メソッド (課題演習)		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：一文字ずらしのアルゴリズム		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Java言語		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	IDE（統合開発環境）を使用してGUIアプリケーションの効率的な作成方法を習得する。		2単位 32時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	開発環境作成	IDEの導入		
3	〃	IDEの使用方法		
4	Windowベースアプリケーション基本	Swingの基本とJframe		
5	〃	テキストフィールドの実装		
6	〃	Swingのイベントと処理を知る		
7	〃	画像表示のプログラム		
8	〃	Dukeのジャグリングプログラム		
9	Windowベースアプリケーション演習	エディタプログラムの作成		
10	〃	〃		
11	〃	〃		
12	〃	シーザ暗号プログラムの作成		
13	〃	〃		
14	〃	〃		
15	〃	〃		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：シーザ暗号プログラムの評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アルゴリズム		堀川	■ 1年 前期	
到達目標	プログラム作成において重要なアルゴリズムの考え方をパターン別に説明。		2単位 32時数	
	合計処理、ソート処理、カレンダー作成、探索処理フローチャートの作成に挑戦。		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	●アルゴリズムとは フローチャート記号			
2	●表示処理 計算処理	課題1		
3	●合計処理	課題2		
4	●平均処理	課題3		
5	●判断処理 (うるう年判定)	課題4		
6	●繰り返し処理 読み書きの繰り返し	課題5		
7	●配列処理	課題6		
8	●ソート処理 (基本選択法)	課題7		
9	●乱数作成	課題8		
10	●カレンダー作成	課題9		
11	●二重ループ処理 (九九表作成)	課題10		
12	●魔方陣作成	課題11		
13	●探索処理	課題12		
14	●二分探索処理	課題13		
15	前期試験			
16	前期試験返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アルゴリズム		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	1、プログラミング技術を上達させるため、様々な視点でのアルゴリズムを習得させる。			2単位 32時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	繰り返し 1～nまでの数和		テーマのフロートチャート作成	
2	順位付け			
3	ユークリッド互除法			
4	九九表計算 (配列使用版)			
5	万年カレンダー作成 (配列使用版)			
6	乱数			
7	ソート (分類) 基本選択法			
8	基本交換法 基本挿入法			
9	サーチ 線形探索			
10	二分探索			
11	再帰			
12	魔法陣作成			
13	バイオリズム作成			
14	バイオリズム作成			
15	まとめ			
16	後期試験・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ネットワーク基礎		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	Webサーバの公開に必要なOSの環境を作成し操作、運用を行う方法を習得する。 LPIライセンスの取得を目指す。			2単位 32時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業説明、到達点、最終目標について	
2	サーバOS導入		ターミナル操作、OSインストール	
3	"		Linuxシステムの基本操作	
4	CLIによる操作		ファイルとディレクトリの操作	
5	"		コマンドラインとメタキャラクタ	
6	"		標準入出力と標準エラー出力	
7	"		ファイルの内容の表示と検索	
8	"		エディタ(vi)の使い方	
9	"		ファイルの編集	
10	セキュリティの設定		パーミッションとアクセス権	
11	ファイル操作		文字の置換	
12	"		並べ替え	
13	"		重複削除	
14	"		抽出・整列・比較	
15	"		文字列の検索	
16	最終課題評価		筆記テスト： 実技テスト：Linuxのファイル操作	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
Web開発演習		デジタルLLC 宮原	■ 1年 前期	
到達目標	HTMLとCSSを使ってマルチメディアに対応したWebページを作成できる。 仮想的なNews記事を配信するホームページを制作できることを目標に実習を行う。 Webページを作成するために必要なHTMLの知識を習得する。			2単位 32時数 実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	htmlの基本構造	基本構造、topページ		
3	画像の表示	サンプル画像の取得、画像のあるページ		
4	リンクの設定	文字のリンクと画像のリンク、フォルダレベルが下がった場合のリンクの../対応		
5	テーブルタグ	セルに画像のはめ込み		
6	映像と音声の表示	映像、音声を表示するWebページ		
7	プロトコルの概要	http,ftp,Filezilla		
8	中間課題評価	筆記テスト： 実技テスト：HTMLの基本構造		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	PetNews記事の選択	ベース記事の作成		
11	CSSによる記事の体裁	記事3本完成、CSSによる枠付き横並びの体裁		
12	記事ページの部品作成	タイトル、ナビゲーション、フッター作成		
13	記事ページの部品合成	記事とタイトル、ナビゲーション、フッターを合成		
14	記事サイトの作成	お知らせを追加		
15	アイキャチの作成	Gifアニメーションを追加		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技テスト：HTML+CSSの基本構造		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Web開発演習		デジタルLLC 宮原	■ 1年 後期	
到達目標	HTMLとCSSを使ってマルチメディアに対応したWebページを作成できる。 仮想的なNews記事を配信するホームページを制作できることを目標に実習を行う。 Webページを作成するために必要なHTMLの知識を習得する。			2単位 32時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	動きのあるWebページの制作	html5入門		
3	動きのあるWebページの制作	要素とCSS		
4	動きのあるWebページの制作	音声動画の取り扱い		
5	動きのあるWebページの制作	CSSによる要素の動的な制御		
6	動きのあるWebページの制作	JavaScriptによる動画の再生制御		
7	動きのあるWebページの制作	テストページの制作		
8	中間課題評価	筆記テスト： 実技テスト：テストページの要件評価		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	シングルWebページ制作	サイト構成とTopページの作成		
11	シングルWebページ制作	Linkページの作成		
12	シングルWebページ制作	ボタンを角丸にしてグラデーションをつける		
13	シングルWebページ制作	サイトメニューを作成		
14	シングルWebページ制作	Jpegアニメーションに変更		
15	シングルWebページ制作	全体調整		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技テスト：シングルWebページの要件評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Web開発演習		デジタルLLC 宮原	■2年 前期	
到達目標	オープンソースのコンテンツ管理システム等を使いより訴求力のあるWebページを制作する技法を習得する。Webアプリケーションにおけるプログラムの実装方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	環境構築	LAMP環境構築		
3	//	XAMP環境構築		
4	//	WordPressの導入と設定		
5	CMS	コンテンツマネジメントシステムとは		
6	//	テンプレートの適用		
7	//	外部テンプレートの適用		
8	中間テスト	筆記テスト： 実技テスト：構築したネットワーク環境の評価		
9	Webサイトの作成	サイトの作成方法		
10	Webサイトの設計	サイトの設計		
11	//	イメージ部品の制作		
12	//	動的部品の制作		
13	//	テキストコンテンツの作成		
14	//	テンプレートの作成		
15	//	コンテンツの適用		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：Webサイトの評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Web開発演習		デジタルLLC 宮原	■ 2年 後期	
到達目標	オープンソースのコンテンツ管理システム等を使いより訴求力のあるWebページを制作する技法を習得する。商用レベルのWebサイトを構築する。			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	全体像の説明	ドメイン管理の仕組み		
3	商品販売サイトの設計	サイトの設計		
4	商品販売サイトの設計	サイトの設計		
5	商品販売サイトの設計	イメージ部品・動的部品の制作		
6	商品販売サイトの設計	イメージ部品・動的部品の制作		
7	商品販売サイトの設計	イメージ部品・動的部品の制作		
8	中間テスト	筆記テスト： 実技テスト：制作部品の状態評価		
9	商品販売サイトの実装	テキストコンテンツの制作		
10	商品販売サイトの実装	テキストコンテンツの制作		
11	商品販売サイトの実装	テキストコンテンツの制作		
12	商品販売サイトの実装	テキストコンテンツの制作		
13	商品販売サイトの実装	テンプレートの選択		
14	商品販売サイトの実装	コンテンツの配置		
15	商品販売サイトの実装	コンテンツの配置		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：商品販売サイトの状態評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アプリケーション開発Ⅰ		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する 制作物：GUI版社内図書管理システム		4単位 64時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	データベースサーバの構築	社内図書管理データベースの復元		
3	データベースサーバの構築	ネットワークアクセス確認		
4	Swingプログラム開発	ログイン名を検索パラメータとする図書貸出し履歴表示アプリ		
5	Swingプログラム開発	PostgreSQLのJDBCドライバを設定する		
6	Swingプログラム開発	パッケージ用のディレクトリを作成する		
7	2階層アプリケーション	例外処理を作成する		
8	2階層アプリケーション	Model (部品) とController (制御) の2階層に分割する		
9	2階層アプリケーション	部品のコンパイルを行う		
10	2階層アプリケーション	制御アプリケーションを実装する		
11	2階層アプリケーション	ボタンの表示を変更する		
12	3階層アプリケーション	Model (部品) とView(GUI表示) とController (制御) の3階		
13	3階層アプリケーション	Look&FeelをMotifにする		
14	3階層アプリケーション	テーブル表示部にタイトルをつける		
15	3階層アプリケーション	必要な機能を満たすパネルレイアウトを作成し処理ロジックを		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：アプリケーションの状態評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アプリケーション開発Ⅰ		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する 制作物：GUI版社内図書管理システム		4単位 64時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	3階層アプリケーション	Model (部品) とView(GUI表示) とController (制御) の3階層に分		
3	3階層アプリケーション	一般ユーザと管理者によりログイン後のGUIを変化させる		
4	3階層アプリケーション	このシステムではどのような問題が発生するか検討する		
5	3階層アプリケーション	起動時DatabaseServerIPを指定することで接続先を変えられるようにする		
6	3階層アプリケーション	ログイン (接続) 機能を実装する		
7	3階層アプリケーション	一般ユーザによる検索機能を実装する		
8	3階層アプリケーション	管理者によるSQLコマンド発行機能を実装する		
9	3階層アプリケーション	管理者機能が使えるのはIPをlocalhostとしたときのみとする		
10	3階層アプリケーション	入力・チェック項目・表示内容をクリアするボタンを作成する		
11	3階層アプリケーション	未返却書籍のみ表示するためのチェックボックスを作成する		
12	3階層アプリケーション	DB接続時は接続ボタンの機能を無効にする		
13	3階層アプリケーション	Windowにメニューバーを作成する		
14	3階層アプリケーション	セキュリティや表示が適正になされるよう調整		
15	3階層アプリケーション	配布用jarファイルを作成する		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：3階層アプリケーションの実装を評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：簿記		村上	■ 1年 前期	
到達目標	1、日商簿記検定試験3級合格			4単位 64時数
	2、日商簿記3級レベルの仕訳の習得			実務経験
	3、			税理士その他有資格者
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ガイダンス 商品売買		その日の授業内容の仕訳演習	
	簿記の概要説明 仕訳のおおまかな説明 商品売買			
2	現金 預金		その日の授業内容の仕訳演習	
	現金、預金預金			
3	その他債権債務①(固定資産以外)		その日の授業内容の仕訳演習	
	受取手形・支払手形、電子記録債権債務			
4	その他債権債務②(固定資産以外)		その日の授業内容の仕訳演習	
	未払金・未収入金、前払金・前受金			
5	その他の費用、貸倒れ関係		その日の授業内容の仕訳演習	
	受取商品券、差入保証金 費用科目			
6	固定資産		その日の授業内容の仕訳演習	
	減価償却費、固定資産の期中取得・売却			
7	経過勘定科目		その日の授業内容の仕訳演習	
	前払費用、前受収益			
8	確認テスト・解説		その日の授業内容の仕訳演習	
	前回までの仕訳確認テストおよび解説			
9	決算整理		その日の授業内容の演習	
	精算表、後T/B、B/S・P/Lの作成			
10	決算整理問題演習		その日の授業内容の演習	
	整理問題演習&解説			
11	決算整理問題演習		その日の授業内容の演習	
	整理問題演習&解説			
12	帳簿への記入		その日の授業内容の演習	
	帳簿記入試算表作成			
13	三伝票		その日の授業内容の演習	
	三伝票制、仕訳日計表証憑 残った時間で仕訳問題演習&解説			
14	帳簿記入～証憑までの問題演習		問題演習解答解説	
15	本試験同様の形式にて問題演習		問題演習解答解説	
16	前期試験		本試験同様の形式にて実施	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：簿記		村上	■ 1年 後期	
到達目標	1、日商簿記検定試験3級合格			4単位 64時数
	2、日商簿記3級レベルの仕訳の習得			実務経験
	3、			税理士その他有資格者
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	商品売買、売掛金・買掛金		その日の授業内容の仕訳演習	
2	現金、預金、小口現金		その日の授業内容の仕訳演習	
3	受取手形・支払手形、電子記録債権債務、貸付金・借入金、手形貸付金・手形借入金		その日の授業内容の仕訳演習	
4	未払金・未収入金、前払金・前受金、仮払金・仮受金、立替金・預り金、受取商品券、差入保証金		その日の授業内容の仕訳演習	
5	費用科目、貸し倒れ時の処理、引当金の設定		その日の授業内容の仕訳演習	
6	減価償却費、固定資産の期中取得・売却、会社の設立・増資・配当		その日の授業内容の仕訳演習	
7	前払費用、前受収益、未払費用、未収収益		その日の授業内容の仕訳演習	
8	前回までの仕訳確認テストおよび解説 税金の仕訳		その日の授業内容の仕訳演習	
9	精算表、後T/B、B/S・P/Lの作成		その日の授業内容の演習	
10	決算整理問題演習&解説		その日の授業内容の演習	
11	決算整理問題演習&解説		その日の授業内容の演習	
12	帳簿記入 試算表作成		その日の授業内容の演習	
13	三伝票制、仕訳日計表、証憑		その日の授業内容の演習	
14	問題演習		問題演習解答解説	
15	問題演習		問題演習解答解説	
16	後期試験		本試験同様の形式にて実施解答解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：簿記Ⅲ		村上	■ 2年 前期	
到達目標	1、日商簿記検定試験2級合格			4単位 64時数
	2、日商簿記2級レベルの仕訳の習得			実務経験
	3、			税理士その他有資格者
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	株式会社設立 配当 無形固定資産		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	株式の発行、剰余金の配当、合併、無形固定資産			
2	法人税等、消費税		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	法人税等仕訳、課税所得の算定、消費税仕訳			
3	商品売買等		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	三分法&売上原価対立法、割戻し、クレジット販売、棚卸減耗&商品評価損、サービス業			
4	手形、電子記録債権債務		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	裏書き、割引き、不渡り、営業外手形、債権譲渡			
5	銀行勘定調整表		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	残高が一致しない時の処理			
6	固定資産		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	割賦購入、減価償却、建設仮勘定、買換&除却&滅失、圧縮記帳			
7	リース取引、研究開発費、ソフトウェア		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	ファイナンスリース取引&オペレーティングリース取引、研究開発費、自社制作ソフトウェア			
8	有価証券		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	売買目的有価証券、満期保有目的債権、子会社関連会社株式、その他有価証券			
9	引当金、外貨換算会計		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	貸倒引当金、修繕引当金、退職給付引当金、賞与引当金、期中&決算時外貨換算			
10	税効果会計、収益認識基準		その日の授業内容の仕訳演習	商業簿記
	税効果会計、収益認識基準			
11	決算処理		問題演習	商業簿記
	精算表、損益計算書&貸借対照表、株主資本等変動計算書、帳簿の締め切り			
12	本支店会計		問題演習	商業簿記
	内部取引相殺、決算整理、合併財務諸表作成			
13	連結会計		問題演習	商業簿記
	開始仕訳、連結修正仕訳			
14	連結会計		問題演習	商業簿記
	内部取引相殺、決算整理、合併財務諸表作成			
15	製造業会計		問題演習	商業簿記
	製造業一巡			
16	前期試験		問題演習&解答解説	商業簿記
	本試験と同様の形式（商業簿記）にて実施			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：簿記Ⅲ		村上	■ 2年 前期	
到達目標	1、日商簿記検定試験2級合格			4単位 64時数
	2、日商簿記2級レベルの仕訳の習得			実務経験
	3、			税理士その他有資格者
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ガイダンス、材料費		問題演習	
	工業簿記とは？材料費の分類、購入&消費の処理、棚卸減耗			
2	材料費、労務費		問題演習	
	予定消費単価、労務費の分類、支払い時の処理			
3	労務費、経費		問題演習	
	予定賃率、消費の処理			
4	個別原価計算		問題演習	
	個別原価計算とは？直接費の賦課と間接費の配賦、予定配賦率			
5	部門別個別原価計算		問題演習	
	部門個別費集計、製造部門への配賦、予定配布			
6	問題演習&解答解説		問題演習	
	個別原価計算を主に問題演習&解答解説			
7	総合原価計算		問題演習	
	総合原価計算とは？月末仕掛品の計算、工程別総合原価計算、組別			
8	総合原価計算		問題演習	
	等級別総合原価計算、仕損&減損、材料の追加投入			
9	問題演習&解答解説		問題演習	
	総合原価計算を主に問題演習&解答解説			
10	標準原価計算		問題演習	
	標準原価計算とは？標準原価計算の計算、原価差異の把握、材料差異			
11	標準原価計算		問題演習	
	労務費差異分析、製造間接費差異分析、勘定記入			
12	問題演習&解答解説		問題演習	
	標準原価計算を主に問題演習&解答解説			
13	直接原価計算		問題演習	
	直接原価計算とは？損益分岐点、CVP分析			
14	問題演習&解答解説		問題演習	
	直接原価計算を主に問題演習&解答解説			
15	工業簿記の財務諸表、本社工場会計		問題演習	
	製造原価報告書、損益計算書&貸借対照表、本社工場会計			
16	後期試験		問題演習&解答解説	
	本試験と同様の形式（商業簿記）にて実施			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：販売士	今井	■ 1 年 前期	
到達目標	1、リテールマーケティング（販売士）検定試験3級合格を目標とする		4単位 64時数
	2、基本的知識・技術の習得		実務経験
	3、小売店舗運営の基本的な仕組みを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につける。		国内外企業にて運営業務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	リテールマーケティング検定解説・目標設定	
2	マーケティング	マーケティングの基本・顧客満足経営の基本	
3	マーケティング	商圏の設定と出店の基本	
4	マーケティング	競争店長さの基本知識	
5	マーケティング	売り場作りの基本知識	
6	マーケティングと復習	店舗照明の基本知識 練習問題	
7	中間試験	マーケティングにおける確認問題実施	
8	マーチャンドライジング	商品の基本と種類	
9	マーチャンドライジング	商品品質3要素	
10	マーチャンドライジング	マーチャンドライジングの基本的な考え方	
11	マーチャンドライジング	商品計画の基本	
12	マーチャンドライジング	販売計画及び仕入計画などの基本	
13	マーチャンドライジング	価格設定の基本要因と政策・利益構成	
14	マーチャンドライジング	在庫管理の基本・販売管理の基本	
15	最終試験	マーチャンドライジングにおける確認問題実施	
16	小売業の類型	流通における小売業の基本	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：販売士	今井	■ 1 年 後期	
到達目標	1、リテールマーケティング（販売士）検定試験3級合格を目標とする		4単位 64時数
	2、基本的知識・技術の習得		実務経験
	3、小売店舗運営の基本的な仕組みを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につける。		国内外企業にて運営業務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	小売業の種類	組織形態別小売業の基本的知識	
2	小売業の種類	商業集積の基本	
3	小売業の種類	店舗形態別の小売業の役割	
4	ストアオペレーション	ストアオペレーションの基本	
5	ストアオペレーション	ディスプレイの基本	
6	ストアオペレーション	包装技術の基本・作業割当の基本	
7	中間試験	小売業の種類・ストアオペレーション確認問題実施	
8	販売経営管理	販売員の役割の基本と法令知識	
9	販売経営管理	計数管理の基本	
10	販売経営管理	店舗管理の基本	
11	総合演習	マーケティング・マーチャライジング	
12	確認問題	過去問を活用	
13	総合演習	小売業の種類・ストアオペレーション	
14	総合演習	販売経営管理	
15	確認問題	過去問を活用	
16	総合復習・練習問題	模擬試験の活用	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：販売士	今井	■ 2 年 前期	
到達目標	1、小売店舗運営の基本的な仕組みを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につける。		4単位 64時数
	2、リテールマーケティング（販売士）検定試験2級合格を目標とする 3、応用的知識・技術の習得		実務経験 国内外企業にて運営業務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	リテールマーケティング検定 解説 目標設定	
2	小売業の種類	流通と小売業の役割・組織形態別小売業の運営の特性	
3	小売業の種類	組織形態別小売業の運営の特性・中小小売業の課題と商業集積の方向性	
4	マーチャンダイジング	商品計画の戦略的立案	
5	マーチャンダイジング	販売計画の戦略的立案・仕入活動の戦略的展開	
6	マーチャンダイジング	販売戦略の戦略的立案	
7	中間試験	過去問題を活用した確認問題	
8	マーチャンダイジング	商品管理政策の戦略的展開・物流政策の戦略的展開	
9	ストアオペレーション	戦略的ストアオペレーション	
10	ストアオペレーション	店舗運営サイクルの実践と管理	
11	ストアオペレーション	戦略的ディスプレイの実施	
12	ストアオペレーション	LSPの役割と仕組み・人的販売の実践と管理	
13	マーケティング	リテールマーケティングの戦略の考え方	
14	マーケティング	リテールマーケティングの戦略	
15	練習問題	過去問題を活用した練習問題	
16	最終試験	過去問題を活用した確認問題	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：販売士	今井	■ 2 年 後期	
到達目標	1、小売店舗運営の基本的な仕組みを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につける。		4単位 64時数
	2、リテールマーケティング（販売士）検定試験2級合格を目標とする		実務経験
	3、応用的知識・技術の習得		国内外企業にて運営業務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	マーケティング	顧客戦略の展開方法	
2	マーケティング	リージョナルプロモーションの企画と実践	
3	マーケティング	商圏分析ならびに出店戦略の立案	
4	マーケティング	店舗開発の手順と実践	
5	販売・経営管理	販売管理者の法令知識・経営分析	
6	販売・経営管理	小売業の組織体制と従業員管理・店舗施設の維持管理	
7	練習問題	過去問題を活用した練習問題	
8	中間試験	過去問題を活用した確認問題	
9	過去問題実施①	過去問題を活用した模擬問題	
10	過去問題実施②	過去問題を活用した模擬問題	
11	過去問題実施③	過去問題を活用した模擬問題	
12	過去問題実施④	過去問題を活用した模擬問題	
13	総合学習①	過去問題・予想問題を活用した総合学習	
14	総合学習②	過去問題・予想問題を活用した総合学習	
15	確認問題	予備問題を活用した確認問題	
16	最終試験	予備問題を活用した確認問題	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：システム開発		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	重要語句を記入していくテキストを使用してテキストを作り上げながら説明を行う。			4単位 64時数
	基本情報技術者試験で問われるシステム設計のポイントについて解説。			実務経験
	簡易システムの上流から下流のシステム設計方法を取得。			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	第1章 開発技術		第1章 演習問題	
	1 ヒューマンインターフェース設計		問1～問26	
2	2 ソフトウェア開発手法			
3	3 システム要件定義とシステム方式設計			
4	3 システム要件定義とシステム方式設計			
5	4 要件定義技法			
6	5 オブジェクト指向とUML			
7	6 ソフトウェア詳細設計			
8	7 モジュール分割と設計			
	8 プログラミング			
9	9 テスト手法			
	10 ソフトウェア結合			
10	第2章 プログラミング言語と開発ツール		第2章 演習問題	
			問1～問10	
11	1 プログラミング言語			
	2 開発ツール			
12	3 プログラム構造			
13	第3章 セキュリティ 1 情報セキュリティ		第3章 演習問題	
	2 暗号化と認証		問1～問16	
14	前期試験対策			
15	前期試験			
16	前期試験返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：システム開発		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	1、IoT機器を用いてエンベデッドOS系システムの開発を行う。		4単位 64時数	
	2、制作物：RaspBerryPi,CentOSインターネットラジオサーバ 3、		実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	Web制御環境の準備	パッケージリストをアップデートする		
		インストール済みのソフトウェアをアップデートする		
2	Web制御環境の準備	Apach2をインストールする		
		PHP7をインストールする		
3	Webアプリケーションの作成	確認用Webページを作成する		
		サービスの起動を確認する		
4	Webアプリケーションの作成	OS起動時のサービスの自動実行を登録する		
		ApacheとPHPの接続モジュールを入れる		
5	Webアプリケーションの作成	再起動してブラウザから問題なくWebページが表示できるか確認する		
		ブラウザからPHPのページが表示できるか確認する		
6	Webアプリケーションの作成	問題があればログを確認して対処する		
		OS起動時に自動実行したプロセスを止めるためにapache2のデフォルトユーザをpiに変更する		
7	Webアプリケーションの作成	チャンネル22 (AmericanSongBook) 22.phpファイルを作成する		
		Apacheのドキュメントルートにシンボリックリンクを張る		
8	Webアプリケーションの作成	ブラウザからアクセス		
		音を止めるスクリプトを作成しシンボリックリンクを張る		
9	PHPアプリケーションの作成	音楽再生のスタートとストップのあるWebページを完成させる		
		PulseAudio のインストールと設定		
10	PHPアプリケーションの作成	systemdサービス化を行う		
		サービスポリシーを設定する		
11	Bluetoothスピーカーに接続	モジュールを設定する		
		サービスを開始して自動起動を設定する		
12	Bluetoothスピーカーに接続	エラーが出るのでpi ユーザも bluetooth グループに加えてやる		
		bluetoothctlを使ってスピーカーとペアリングする		
13	Bluetoothスピーカーに接続	デバイスを探してアドレスを得る		
		ペアリングして接続する		
14	Bluetoothスピーカーに接続	回以降自動で接続するように		
		音楽局が再生できるか確認する		
15	期末試験	実技：チャンネル22 (AmericanSongBook) が再生できるか評価		
		実技：Bluetoothスピーカーの接続状態を評価		
16	期末試験解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：オブジェクト指向プログラミング		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	人間が分かり易いように「現実世界のモノをそのままモデリングしたもの」を作成していきという考え方のオブジェクト指向を使用したプログラムの作成方法を取得する			4単位 64時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	第7章 オブジェクト指向とは	課題7 Book.class ExecBook.java		
	第8章 インスタンスとクラス	課題8 Account.java ExecAccount.java		
3	クラスの定義	Accountクラスの拡張		
	クラスの生成			
4	第9章 さまざまなクラス	課題9		
	参照型	Triangle.java、ExecTriangle.java		
5	コンストラクタ	Book.java, Triangle.javaの拡張		
6	第10章 継承	課題10		
	継承の基礎	Student.java、ExecStudent.java		
7	継承とコンストラクタ			
8	第11章 高度な継承	課題11 約分メソッドを利用して通分		
	抽象クラス	分数クラスの作成		
9	インターフェース			
10	第12章 多態性	課題11 約分メソッドを利用して通分		
	多態性とは	分数クラスの作成		
11	多態性のメリット			
12	第13章 カプセル化	課題12 toStringメソッド追加		
	カプセル化の目的とメリット	分数クラスの作成		
13	アクセス制御			
14	前期試験対策			
15	前期試験対策			
16	前期試験返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：オブジェクト指向プログラミング		星川	■ 2年 後期	
到達目標	1、オブジェクト指向プログラミングに必要な概念と実態、継承と多態、情報の隠蔽について			4単位 64時数
	2、IDE環境でプログラミングを行う。			実務経験
	3、IDE環境を使用してOSに依存しないオブジェクト指向プログラムの作成方法を習得する。			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	環境構築		プログラミング環境構築	
2	前提知識		基本構文の復習	
3	構文		クラスとインスタンス	
4	構文		インターフェース	
5	構文		スーパークラスとサブクラス	
6	構文		例外	
7	構文		ガーベッジコレクション	
8	構文		スレッド	
9	構文		パッケージ	
10	構文		ファイル操作	
11	構文		ネットワークプログラムの制作 (PingStdout)	
12	構文		ネットワークプログラムの制作 (PingStdout)	
13	構文		ネットワークプログラムの制作 (PingStdout)	
14	構文		ネットワークプログラムの制作 (PingStdout)	
15	期末テスト		実技テスト：例外処理の実装	
			応答要求プログラムの制作	
16	期末テスト・返却			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アプリケーション開発Ⅱ		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する		4単位 64時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	データベースサーバの構築	生産管理データベースのモデルを確認		
3	データベースサーバの構築	SQL-DDL物理テーブル作成		
4	データベースサーバの構築	SQL-DML生産データ入力		
5	データベースサーバの構築	SQL-DMLデータ抽出、内容確認		
6	品目テーブルの表示	品目テーブルの表示とルックアンドフィール		
7	品目テーブルの表示	データベースアクセスパラメータを修正しDB接続用部品を作成する		
8	品目テーブルの表示	すべてのJavaファイルを -d オプションつきでコンパイルする		
9	品目テーブルの表示	QuerySwingViewControl を実行し品目テーブルの内容が出力されることを確認する		
10	在庫テーブルの更新と削除	在庫テーブルの更新と削除のSQL実装		
11	在庫テーブルの更新と削除	テーブル内容保持Bean (部品) を作成する		
12	在庫テーブルの更新と削除	在庫テーブル内容取得Bean (部品) を作成する		
13	在庫テーブルの更新と削除	更新制御Controller (制御) を作成する		
14	在庫テーブルの更新と削除	削除追加機能付きView (GUI表示) を作成する		
15	DukeのJugglingの実装	Jugglingアニメーション実行 (スレッド) と実行制御Controller (制御) を作成する		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：DukeのJugglingの実装の評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アプリケーション開発Ⅱ		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する		4単位 64時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	画面設計設計	Swingプログラムの環境設定		
3	コントロールパネルの設計	起動時コントロールの設計		
4	コントロールパネルの設計	DatabaseServerIPを指定するテキストフィールドを作成する		
5	コントロールパネルの設計	ログイン（接続）機能を実現するための項目フィールドを作成する		
6	コントロールパネルの実装	ルックアンドフィールの実装		
7	コントロールパネルの実装	コンソール起動用ボタン、Window消去ボタンを作成する		
8	コントロールパネルの実装	アイコンツールバー（ツールチップ付き）を作成する		
9	コンソール表示	標準出力の状態表示		
10	コンソール表示	ソースコード中の System.out.println を出力するコンソールWindowを作成する		
11	見込み生産計画入力	見込み生産計画入力画面の作成		
12	見込み生産計画入力	基準生産計画（MPS）を入力するアプリを作成する		
13	見込み生産計画入力	期間と計画品目はドロップダウンリストから選択できるようにする		
14	見込み生産計画入力	MPSテーブルの内容を表示するアプリを作成する		
15	見込み生産計画入力	カレンダーを作成する		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：MPSアプリの状態を評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ネットワークセキュリティ		デジタルLLC 宮原	■ 2年 前期	
到達目標	1、ネットワーク上の安全な通信経路を補確保するために必要な暗号化技術を講義とともに演習を通して習得する。			4単位 64時数
	2、ネットワーク接続におけるSSLの仕組みを習得する。 3、			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	セキュリティとは	多層防御の考え方		
2	セキュリティとは	ネットワークとセキュリティ		
3	セキュリティとは	情報システムの安全管理		
4	セキュリティの実際	共通鍵暗号化方式		
5	セキュリティの実際	公開鍵暗号化方式		
6	セキュリティの実際	電子署名と暗号化、ハッシュアルゴリズム		
7	通信のセキュリティ	sshの鍵認証 (SSL/TLSの仕組み)		
8	通信のセキュリティ	sshの鍵認証 (SSL/TLSの仕組み)		
9	通信のセキュリティ	sshの鍵認証 (SSL/TLSの仕組み)		
10	通信のセキュリティ	sshの鍵認証 (SSL/TLSの仕組み)		
11	通信のセキュリティ	sshの鍵認証 (SSL/TLSの仕組み)		
12	通信のセキュリティ	sshの鍵認証 (SSL/TLSの仕組み)		
13	通信のセキュリティ	sshの鍵認証 (SSL/TLSの仕組み)		
14	通信のセキュリティ	sshの鍵認証 (SSL/TLSの仕組み)		
15	期末テスト	実技テスト：PKI環境の評価		
		公開鍵認証による接続の評価		
16	返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ネットワークセキュリティ		デジタルLLC 宮原	■ 2年 後期	
到達目標	1、サーバ接続時に必要なセキュリティ要件を演習を通して習得する。			4単位 64時数
	2、サーバのセキュリティ対策の技法を習得する。			実務経験
	3、			ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		クール開始授業説明、到達点について	
2	Linuxサーバセキュリティ		ログイン画面の非表示	
3	Linuxサーバセキュリティ		セキュアコピー	
4	Linuxサーバセキュリティ		スーパーユーザコマンドの制限	
5	Linuxサーバセキュリティ		SELinux	
6	Linuxサーバセキュリティ		ファイヤーウォール (Ver6系)	
7	Linuxサーバセキュリティ		ファイヤーウォール (Ver7系)	
8	中間テスト		筆記テスト：実技テスト：ファイヤーウォールの状態評価	
9	サーバサイドセキュリティ		sshセキュリティシェルの設定	
10	サーバサイドセキュリティ		sshセキュリティシェルの設定	
11	サーバサイドセキュリティ		セキュリティログの調査	
12	サーバサイドセキュリティ		パスワードクラッキング	
13	Windowsサーバセキュリティ		デフォルトセキュリティポリシー	
14	Windowsサーバセキュリティ		ファイルスクリーンとシャドウコピー	
15	Windowsサーバセキュリティ		ACLと隠し共有	
16	最終テスト		筆記テスト：実技テスト：サーバの状態評価	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：基本情報処理対策		堀川	■1年 後期	
到達目標	システムエンジニアに必要なコンピュータ、経営戦略、マネジメント、ネットワークなど、幅広い知識を講義と問題演習により習得する。基本情報技術者（FE）午前試験免除対象講座の22時間カリキュラム相当の内容とする。			4単位 64時数 実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	セキュリティ	情報セキュリティ管理 セキュリティ技術評価		
3	システム開発技術	保守・廃棄		
4	プロジェクトマネジメント	プロジェクトの統合		
5	プロジェクトマネジメント	プロジェクトのステークホルダ		
6	プロジェクトマネジメント	プロジェクトの資源		
7	プロジェクトマネジメント	プロジェクトのリスク		
8	プロジェクトマネジメント	プロジェクトの調達		
9	プロジェクトマネジメント	プロジェクトのコミュニケーション		
10	サービスマネジメント	ファシリティマネジメント		
11	システム監査	システム監査 内部統制		
12	システム戦略	ソリューションビジネス システム活用促進・評価		
13	システム課企画	システム化計画 要件定義・調達計画・実施		
14	経営戦略マネジメント	ビジネス戦略と目標・評価		
15	技術戦略マネジメント	技術開発戦略の立案 技術開発計画		
16	法務	セキュリティ関連法規 労働関連・取引関連法規		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：基本情報処理対策		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	オブジェクト指向の考え方にに基づきJava言語を使用してプログラム作成を行う。			4単位 64時数
	クラスの設計を行いクラスを作成、そのテストクラスとして実行用クラスを作成。 Java言語を使用してのオブジェクトプログラミング方法の取得を目指す。			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	第7章 オブジェクト指向とは	課題7の実装		
2	第8章 インスタンスとクラス	課題8の実装		
3	クラスの定義			
	クラスの生成			
4	第9章 さまざまなクラス	課題9の実装		
	参照型			
5	コンストラクタ			
6	第10章 継承	課題10の実装		
	継承の基礎			
7	継承とコンストラクタ			
8	第11章 高度な継承	課題11の実装		
	抽象クラス			
9	インターフェース			
10	第12章 多態性	課題12の実装		
	多態性とは			
11	多態性のメリット			
12	第13章 カプセル化	課題13の実装		
	カプセル化の目的とメリット			
13	アクセス制御			
14	前期試験対策			
15	前期試験対策			
16	前期試験返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：基本情報処理対策		堀川	■ 2年 後期
到達目標	1、クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する 2、クライアントに導入したJavaプログラムとネットワーク上のデータベースサーバが通信 3、		4単位 64時数 実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	データベースサーバの構築	生産管理データベースのモデルを確認	
		SQL-DDL物理テーブル作成	
2	データベースサーバの構築	SQL-DML生産データ入力	
		SQL-DMLデータ抽出、内容確認	
3	Javaプログラム開発	1. 品目テーブルの表示とルックアンド フィール	
		データベースアクセスパラメータを修正し DB接続用部品を作成する	
4	Javaプログラム開発	すべてのJavaファイルを -d オプショ ンつきでコンパイルする	
		QuerySwingViewControl を実行し品目 テーブルの内容が出力されることを確認す	
5	Javaプログラム開発	2. 在庫テーブルの更新と削除	
		テーブル内容保持Bean (部品) を作成する	
6	Javaプログラム開発	在庫テーブル内容取得Bean (部品) を作成 する	
		更新制御Controller (制御) を作成する	
7	Javaプログラム開発	削除追加機能付きView (GUI表示) を作成 する	
		3. DukeのJugglingの実装	
8	Javaプログラム開発	Jugglingアニメーション実行 (スレッド) と実行制御Controller (制御) を作成する	
9	Swingプログラム開発	4. コントロールパネルの設計	
		DatabaseServerIPを指定するテキスト フィールドを作成する	
10	Swingプログラム開発	ログイン (接続) 機能を実現するための項 目フィールドを作成する	
		5. コントロールパネルの実装	
11	Swingプログラム開発	コンソール起動用ボタン、Window消去ボ タンを作成する	
		アイコンツールバー (ツールチップ付き) を作成する	
12	Swingプログラム開発	6. コンソール表示	
		ソースコード中の System.out.println を出 力するコンソールWindowを作成する	
13	Swingプログラム開発	7. 見込み生産計画入力	
		基準生産計画 (MPS) を入力するアプリを 作成する	
14	Swingプログラム開発	期間と計画品目はドロップダウンリストか ら選択できるようにする	
		MPSテーブルの内容を表示するアプリを作 成する	
15	期末テスト	カレンダーを作成する	
		実技テスト：MPSアプリの状態を評価	
16	期末テスト返却・解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：経営管理		村上	■ 1年 後期	
到達目標	グローバル化した経済の中で、その環境や方法流通の仕組みを理解し、ビジネスパーソンとして、分析&戦略を立てる事ができるスキル&知識を習得する			4単位 64時数
				実務経験 税理士
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	経営学とは			
3	社会経営の基本的仕組み			
4	会社（株式会社）のしくみ			
5	取締役と執行役員の役割			
6	成長させるための経営計画と企業分析			
7	経営戦略の必要性			
8	マッキンゼーの7つのS			
9	組織と人の役割			
10	組織と人の役割			
11	持ち株式会社のしくみ			
12	成果主義で変わる会社の内容			
13	新製品の開発			
14	シックスシグマ			
15	商品価値を上げる ブランド戦略			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：経営管理		村上	■ 2年 前期	
到達目標	グローバル化した経済の中で、その環境や方法流通の仕組みを理解し、ビジネスパーソンとして、分析&戦略を立てる事ができるスキル&知識を習得する			4単位 64時数
				実務経験 税理士
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	決算書の読み方&経営分析			
3	経営分析で判断するポイント			
4	会社の倒産&再建			
5	情報化によって変わる経営			
6	インターネットビジネスの現状			
7	サプライチェーン・マネジメント・ロングテール			
8	個人情報保護法と経営			
9	経営のグローバル化			
10	業界再編成			
11	コンプライアンス経営			
12	ナレッジ・マネジメントとは			
13	ゲーム理論とは何か			
14	仮説、検証、実行のサイクル			
15	OWN会社の設立企画書を作ってみる			
16	企画書発表			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：経営管理		村上	■ 2年 後期	
到達目標	グローバル化した経済の中で、その環境や方法流通の仕組みを理解し、ビジネスパーソンとして、分析&戦略を立てる事ができるスキル&知識を習得する			4単位 64時数
				実務経験 税理士
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	決算書の読み方&経営分析			
3	経営分析で判断するポイント			
4	会社の倒産&再建			
5	情報化によって変わる経営			
6	インターネットビジネスの現状			
7	サプライチェーン・マネジメント・ロングテール			
8	個人情報保護法と経営			
9	経営のグローバル化			
10	業界再編成			
11	コンプライアンス経営			
12	ナレッジ・マネジメントとは			
13	ゲーム理論とは何か			
14	仮説、検証、実行のサイクル			
15	オウん会社の設立企画書を作ってみる			
16	企画書発表			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業経営論		村上	■ 1年 後期	
到達目標	職業人として備えておくべき、販売企画に関する広い知識を習得する。			2単位 32時数
				実務経験 税理士
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		発表内容
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	商品販売企画案			
2	商品販売企画書作成			
3	商品販売見積書作成			
4	販売計画書作成			
5	商品仕入先選定			
6	商品購入準備			
7	商品棚卸 陳列			
8	商品棚卸 陳列			
9	店舗始動準備			
10	店舗運営開始			
11	店舗運営開始			
12	店舗運営分析			
13	店舗運営分析			
14	店舗運営分析 収支報告書作成			
15	発表準備資料作成			
16	発表会開催			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：クライアントコミュニケーション		村上	■2年 前期
到達目標	システムエンジニアとして依頼企業（クライアント）の要求とコンピュータの間を取り持つ仲介のスキルを身につける。クライアントはAdachi学園広報部とし、学生は学科を選び1人1つ学科のホームページを作成する。		4単位 64時数 実務経験 税理士
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	プレゼン、プレゼン時でのクライアントとのコミュニケーション力、クライアントによる作品評価を総合的に判断し評価する。
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業説明	
2	クライアントからのオリエン	クライアントより複数学科のホームページ作成の依頼（メインページ含めて4ページ／構成／機能／納品日）各学科のテーマ、原稿を確認 質疑応答	
3	ラフ案の検討	各学科のテーマ、原稿を確認、メインページのイメージを作成する	
4	ラフ案の検討	ラフ案検討（メインイメージ／階層／基本フレーム／ボタン案）	
5	ラフ案作成（全員作成）	メインイメージ／階層／基本フレーム／ボタンイメージなど、テーマに合わせて作成	
6	ラフ案作成（全員作成）	メインイメージ／階層／基本フレーム／ボタンイメージなど、テーマに合わせて作成	
7	ラフ案作成（全員作成）	ラフ案検討 全員（各学科）の作品を見て批評を行い修正する。	
8	クライアントへの提案	全学生各作品をプレゼン、クライアントの要求したポイントを説明、質疑応答	
9	クライアントより修正提示	クライアントより修正箇所の指示、次のステップのスケジュールを確認	
10	基本設計の調整	言語、階層、フレーム、ボタンなどの共通部分の確認と調整	
11	プログラミング作成	各学科のコンテンツ、階層の作成（4ページ）	
12	プログラミング作成	各学科のコンテンツ、階層の作成（4ページ）	
13	プログラミング作成	各学科のコンテンツ、階層の作成（4ページ）	
14	テスト	各学科をまとめて正常に動作するかテスト／修正を行う	
15	テスト	各学科をまとめて正常に動作するかテスト／修正を行う	
16	クライアントへのプレゼン	発表、評価、改善指摘	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：クライアントコミュニケーション		村上	■2年 後期
到達目標	システムエンジニアとして依頼企業（クライアント）の要求とコンピュータの間を取り持つ仲介のスキルを身につける。学生はチームを編成し、クライアントはAdachi学園広報部とし、学校のホームページを作成する。前期に作成したHPへのページ数追加/スマホ対応ページの作成/SEO対策を考慮した提案		4単位 64時数
			実務経験 税理士
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	オリエン、プレゼン時でのクライアントとのコミュニケーション力。クライアントによる作品評価を総合的に判断し評価する。
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	オリエンテーション /クライアントへのプレゼンは全員が実施	
2	クライアントからのオリエン	クライアントより前期の4ページに追加3ページを依頼/スマホ対応ページの作成/SEO対策の要求を指示	
3	プログラミング作成	各学科のコンテンツ追加、階層の作成 (3ページ)	
4	プログラミング作成	各学科のコンテンツ追加、階層の作成 (3ページ)	
5	プログラミング作成/動作テスト	各学科のコンテンツ追加、階層の作成 (3ページ) /動作テスト	
6	クライアントへプレゼン	各学科プレゼン/質疑応答	
7	クライアントへプレゼン修正指示	各学科プレゼン/質疑応答	
8	クライアントより修正確認	修正/動作テスト/納品	
9	スマホで閲覧可能に	Google Chromeを使用しスマホ閲覧が可能にする	
10	スマホ専用サイトの作成	HP用のコンテンツをスマホ専用サイトに作成する	
11	スマホ専用サイトの作成	HP用のコンテンツをスマホ専用サイトに作成する	
12	スマホ専用サイトの作成	HP用のコンテンツをスマホ専用サイトに作成する	
13	スマホ専用サイトの作成	HP用のコンテンツをスマホ専用サイトに作成する	
14	テスト	各学科をまとめて正常に動作するかテスト/修正を行う	
15	テスト	各学科をまとめて正常に動作するかテスト/修正を行う	
16	クライアントへのプレゼン	発表、評価、改善指摘	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：マーケティング		佐藤	■ 2年 前期	
到達目標	1年時の復習とマーケティングの重要性の確認			2単位 32時数
	マーケティング検定にむけての年間スケジュール確認			実務経験 通訳、マーケティング職歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	「概念」テキストで学ぶ			
2	「概念」問題集を解く			
3	「市場環境」テキストで学ぶ			
4	「市場環境」問題集を解く			
5	「市場環境」テキストで学ぶ			
6	「市場環境」問題集を解く			
7	「マーケティング戦略」テキストで学ぶ			
8	「マーケティングリサーチ」問題集を解く			
9	「マーケティングリサーチ」テキストで学ぶ			
10	「マーケティングリサーチ」問題集を解く			
11	「消費者行動」テキストで学ぶ			
12	「消費者行動」問題集を解く			
13	今までの復習			
14	テスト			
15	フィードバック			
16	まとめ・振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：マーケティング	佐藤	■ 2年 後期	
到達目標	マーケティング検定にむけての年間スケジュール確認 テキスト、問題集の取り組み方		2単位 32時数
			実務経験 通訳、マーケティング職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	「製品戦略」テキストで学ぶ		
2	「製品戦略」問題集を解く		
3	「価格戦略」テキストで学ぶ		
4	「価格戦略」問題集を解く		
5	「コミュニケーション戦略」テキストで学ぶ		
6	「コミュニケーション戦略」問題集を解く		
7	「チャネル戦略」テキストで学ぶ		
8	「チャネル戦略」問題集を解く		
9	「サービス・マーケティング」テキストで学ぶ		
10	「サービス・マーケティング」問題集を解く		
11	問題集2回目スタート		
12	問題集2回目		
13	問題集2回目		
14	テストを受ける		
15	テスト解説		
16	まとめ・振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：起業セミナー		村上	■2年 前期	
到達目標	会社の種類（株式、有限、合同）と会社設立に関する法律、届け出、マネジメントなどをケーススタディーで学ぶベンチャー企業研究。ビジネスモデルの事例研究、価値創造のケーススタディー			2単位 32時数 実務経験 税理士
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		課題とレポート提出 (1000文字以上)
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	オリエンテーション 会社の種類と業の方法（学生起業、独立開業、フランチャイズ、など）		
2	歴史と経営者	過去の優秀な経営者とその経営手法について学ぶ（成功事例／失敗事例）		
3	歴史と経営者	過去の優秀な経営者とその経営手法について学ぶ（成功事例／失敗事例）		
4	会社の設立手続き	書類関係／登記／設立後の手続き		
5	資金調達方法	日本政策金融公庫、銀行融資（ビジネスローン）、クラウドファンディングなど		
6	マーケティング1	3Cの分析Customer（市場・顧客）Competitor（競合相手）Company（自社）		
7	マーケティング課題1	仮定の自分の会社を設定し3Cで分析を行う		
8	マーケティング2	4P分析（マーケティングミックス）Product（プロダクト：製品）Price（プライス：価格）Place（プレイス：流通）Promotion（プロモーション：販売促進）を企画する		
9	マーケティング課題2	自分の企業での仮想商品を設定し企画書を書く		
10	マーケティング課題2-2	プロモーション（販売促進ツール）店舗でポスター チラシやPOPを貰ってくるキャンペーンや、告知内容の分析（訴求テーマ、ターゲット、効果測定）を読み取る		
11	売上、経費、利益率	ラーメン店をモデルに利益率の計算を行ってみる。		
12	売上、経費、利益率	自分の店で利益を上げるための試算学習		
13	会社が納める税金	法人税、法人住民税、法人事業生、地方法人税、消費税、所得税、印紙税、など		
14	会社の節税対策	青色深刻、税制優遇制度、所得控除、税額控除など		
15	起業家を狙った詐欺事例	起業するにあたり、注意事項（悪質なセミナー、コンサルタントなどの事例研究）		
16	レポート課題	起業研究を学んでのレポートの提出文字数1,000字以上		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：起業セミナー		村上	■2年 後期	
到達目標	会社の種類（株式、有限、合同）と会社設立に関する法律、届け出、マネジメントなどをケーススタディーで学ぶベンチャー企業研究。ビジネスモデルの事例研究、価値創造のケーススタディー			2単位 32時数 実務経験 税理士
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		課題とレポート提出 (1000文字以上)
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	オリエンテーション 会社の種類と業の方法（学生起業、独立開業、フランチャイズ、など）		
2	歴史と経営者	過去の優秀な経営者とその経営手法について学ぶ（成功事例／失敗事例）		
3	歴史と経営者	過去の優秀な経営者とその経営手法について学ぶ（成功事例／失敗事例）		
4	会社の設立手続き	書類関係／登記／設立後の手続き		
5	資金調達方法	日本政策金融公庫、銀行融資（ビジネスローン）、クラウドファンディングなど		
6	マーケティング1	3Cの分析Customer（市場・顧客）Competitor（競合相手）Company（自社）		
7	マーケティング課題1	仮想の自分の会社を設定し3Cで分析を行う		
8	マーケティング2	4P分析（マーケティングミックス）Product（プロダクト：製品）Price（プライス：価格）Place（プレイス：流通）Promotion（プロモーション：販売促進）を企画する		
9	マーケティング課題2	自分の企業での仮想商品を設定し企画書を書く		
10	マーケティング課題2-2	プロモーション（販売促進ツール）店舗でポスター チラシやPOPを貰ってくるキャンペーンや、告知内容の分析（訴求テーマ、ターゲット、効果測定）を読み取る		
11	売上、経費、利益率	ラーメン店をモデルに利益率の計算を行ってみる。		
12	売上、経費、利益率	自分の店で利益を上げるための試算学習		
13	会社が納める税金	法人税、法人住民税、法人事業生、地方法人税、消費税、所得税、印紙税、など		
14	会社の節税対策	青色深刻、税制優遇制度、所得控除、税額控除など		
15	起業家を狙った詐欺事例	起業するにあたり、注意事項（悪質なセミナー、コンサルタントなどの事例研究）		
16	レポート課題	起業研究を学んでのレポートの提出文字数1,000字以上		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：eコマース		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	仮想の電子商店を立ち上げ、ECサイトの構築・運用の疑似体験を行う事で、電子商取引における必要な知識の習得を目指す。			2単位 32時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		レポート提出
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	eコマースとは			
3	インターネットビジネス			
4	マーケティング/ターゲット			
5	仮想電子商店事業計画			
6	仮想電子商店事業計画			
7	仮想電子商店制作			
8	仮想電子商店制作			
9	仮想電子商店制作			
10	仮想電子商店制作			
11	仮想電子商店制作			
12	仮想電子商店運用			
13	仮想電子商店運用			
14	クチコミ等分析			
15	優良ショップの手法を学ぶ			
16	レポート作成			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Microsoft Office specialist		寺岡	■ 2年 前期	
到達目標	プレゼンテーションの作成やスライドマスターの使い方などOfficePowerPointの基礎と応用を習得する			4単位 64時数
				実務経験 公務員歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		PC習得度・課題提出
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	プレゼンテーションの作成と管理			
3	プレゼンテーションの作成と管理			
4	プレゼンテーションの作成と管理			
5	図形やスライドの挿入と書式設定			
6	図形やスライドの挿入と書式設定			
7	スライドコンテンツ			
8	スライドコンテンツ			
9	画面切り替え・アニメーションの適用			
10	画面切り替え・アニメーションの適用			
11	複数のプレゼンテーションの管理			
12	複数のプレゼンテーションの管理			
13	複数のプレゼンテーションの管理			
14	確認問題			
15	確認問題			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Microsoft Office specialist		寺岡	■ 2年 後期	
到達目標	プレゼンテーションの作成やスライドマスターの使い方などOfficePowerPointの基礎と応用を習得する			4単位 64時数
				実務経験 公務員歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		PC習得度・課題提出
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	プレゼンテーションの作成と管理			
3	プレゼンテーションの作成と管理			
4	プレゼンテーションの作成と管理			
5	図形やスライドの挿入と書式設定			
6	図形やスライドの挿入と書式設定			
7	スライドコンテンツ			
8	スライドコンテンツ			
9	画面切り替え・アニメーションの適用			
10	画面切り替え・アニメーションの適用			
11	複数のプレゼンテーションの管理			
12	複数のプレゼンテーションの管理			
13	複数のプレゼンテーションの管理			
14	確認問題			
15	確認問題			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：プレゼンテーション		石坂	■ 2年 後期	
到達目標	Windows・MACなどの幅広いアプリケーションの活用法を学ぶ			2単位 32時数
				実務経験 無
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		アプリケーション操作の習得度
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	Word・Excelの確認			
2	Powerpointの操作（構成とデザイン）			
3	Powerpointの操作（オブジェクト・表示効果）			
4	プレゼンテーションの作成・動作			
5	プレゼンテーションの作成・動作			
6	illustratorの基本操作（ペンツール）			
7	illustratorの基本操作（レイアウト）（用紙サイズ・印刷）			
8	illustratorの基本操作問題			
9	Photoshopの基本操作（選択ツール）			
10	Photoshopの基本操作（レイヤーの活用）			
11	Photoshopの基本操作（画像の編集）			
12	illustratorとPhotoshopを活用した制作（名刺作成）			
13	illustratorとPhotoshopを活用した制作（DM作成）			
14	ビジネスシーンに合わせた資料作成（売上・会議資料など）			
15	ビジネスシーンに合わせた資料作成（売上・会議資料など）			
16	総合学習問題			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：英会話（オンライン）		AIC	■ 2年 前期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける 各回のレベルチェックに合格次第次のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント確認 受講方法の確認		
2	AICオンライン英会話 Lesson 1	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
3	AICオンライン英会話 Lesson 2	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
4	AICオンライン英会話 Lesson 3	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
5	AICオンライン英会話 Lesson 4	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
6	AICオンライン英会話 Lesson 5	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
7	AICオンライン英会話 Lesson 6	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
8	AICオンライン英会話 Lesson 7	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
9	AICオンライン英会話 Lesson 8	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
10	AICオンライン英会話 Lesson 9	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
11	AICオンライン英会話 Lesson 10	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
12	AICオンライン英会話 Lesson 11	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
13	AICオンライン英会話 Lesson 12	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
14	AICオンライン英会話 Lesson 13	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
15	AICオンライン英会話 Lesson 14	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
16	AICオンライン英会話 まとめ	レベルチェック		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：英会話（オンライン）		AIC	■ 2年 後期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける 各回のレベルチェックに合格次第次のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント確認 受講方法の確認		
2	AICオンライン英会話 Lesson 1	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
3	AICオンライン英会話 Lesson 2	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
4	AICオンライン英会話 Lesson 3	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
5	AICオンライン英会話 Lesson 4	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
6	AICオンライン英会話 Lesson 5	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
7	AICオンライン英会話 Lesson 6	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
8	AICオンライン英会話 Lesson 7	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
9	AICオンライン英会話 Lesson 8	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
10	AICオンライン英会話 Lesson 9	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
11	AICオンライン英会話 Lesson 10	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
12	AICオンライン英会話 Lesson 11	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
13	AICオンライン英会話 Lesson 12	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
14	AICオンライン英会話 Lesson 13	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
15	AICオンライン英会話 Lesson 14	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
16	AICオンライン英会話 まとめ	レベルチェック		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		堀川	■ 1年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		堀川	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		堀川	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数
				実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修A		堀川	■ 1年 前期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		8単位 128時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修A		堀川	■ 1年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		8単位 128時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修A		堀川	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		8単位 128時数	
			実務経験 ITプログラマ職歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修A		堀川	■ 2年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		8単位 128時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修B		堀川	■ 1年 前期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		8単位 128時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修B		堀川	■ 1年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		8単位 128時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修B		堀川	■ 2年 前期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		8単位 128時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修B		堀川	■ 2年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		8単位 128時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修C		堀川	■ 1年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		16単位 256時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修C		堀川	■ 2年 前期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		16単位 256時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修C		堀川	■ 2年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		16単位 256時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修D		堀川	■ 1年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		16単位 256時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修D		堀川	■ 2年 前期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		16単位 256時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：企業研修D		堀川	■ 2年 後期
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		16単位 256時数
			実務経験 ITプログラマ職歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修		
2	企業研修		
3	企業研修		
4	企業研修		
5	企業研修		
6	企業研修		
7	企業研修		
8	企業研修		
9	企業研修		
10	企業研修		
11	企業研修		
12	企業研修		
13	企業研修		
14	企業研修		
15	企業研修		
16	企業研修	企業評価振り返り	